2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　日東精工株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　5957　　ＵＲＬ　https://www.nittoseiko.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）荒賀　誠
問合せ先責任者　（役職名）取締役　経営管理本部本部長　（氏名）松本　真一　　ＴＥＬ　（0773）42-3111

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	38,070	5.8	2,822	27.4	2,803	31.7	1,791	39.7
2025年12月期第３四半期	35,998	5.8	2,215	△1.9	2,127	△10.5	1,283	△12.6

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　1,749百万円（60.2%）　2025年12月期第３四半期　1,091百万円（△42.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	49.35	ー
2025年12月期第３四半期	35.39	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	56,445	41,756	65.4
2025年12月期	57,673	41,002	63.0

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　36,898百万円　2025年12月期　36,309百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	10.00	ー	13.00	23.00
2026年12月期	ー	12.00	ー		
2026年12月期（予想）				12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	3.5	3,800	10.7	3,800	11.5	2,300	6.9	63.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料７ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	39,985,017株	2025年12月期	39,985,017株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	3,641,976株	2025年12月期	3,682,982株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	36,312,502株	2025年12月期３Ｑ	36,261,642株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（企業結合等関係） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益の改善や設備投資需要に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、米国におけるAI・データセンター関連を中心とした設備投資需要が成長を牽引した一方で、地政学リスクや貿易政策を巡る不透明感が継続しました。

このような経営環境のもと、当社グループは今年度より、新たな中期経営計画「Mission G-final」をスタートしました。初年度は「イノベーションを核に、稼ぎ力を加速する2026」をテーマに、４つの成長戦略（事業拡大・環境・人財・財務）の取り組みを進めています。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は380億７千万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は28億２千２百万円（前年同期比27.4%増）、経常利益は28億３百万円（前年同期比31.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億９千１百万円（前年同期比39.7%増）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりです。

＜ファスナー事業＞

当事業につきましては、主な需要先である自動車関連業界において、国内やインドでの需要が堅調に推移したほか、中国のEV市場の急速な発展に伴う部品需要が増収に貢献しました。ゲーム機向けの精密ねじにおいては生産調整局面となりましたが、一方でデータセンター向け需要の増加により底堅く推移しました。さらに、AIサーバーなどの組立工程の課題を解決する新製品「AGpoint」の開発にも注力しました。（2026年10月20日公表）

この結果、売上高は286億５千９百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は19億１千８百万円（前年同期比32.7%増）となりました。

＜産機事業＞

当事業につきましては、自動車業界において、国内ではEV開発の中止やモデルチェンジ案件の減少などの影響を受け需要が伸び悩んだものの、海外では米国におけるHV販売の増加を背景に設備投資需要が堅調に推移しました。また、AI需要の拡大に伴うデータセンター向け販売が国内外で増加し、業績に寄与しました。このほか、次世代スタンダードとなる新型電流制御ナットランナ「KX-R1シリーズ」の開発を進めました。（2026年10月８日公表）

この結果、売上高は43億２千８百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は６億６千万円（前年同期比25.2%増）となりました。

＜制御事業＞

当事業につきましては、エネルギー・環境関連分野などで利用される元素計において、インドの石油化学分野向け新規投資需要の拡大が増収に寄与するとともに、環境規制を背景とした欧州での更新需要が底堅く推移しています。また、造船向けおよびデータセンター向け流量計も堅調に推移したほか、質量流量計「クリーンフロー」の小口径モデルの販売開始に向けた準備にも取り組みました。（2026年10月26日公表）

この結果、売上高は50億４百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は３億４千９百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

＜メディカル事業＞

当事業につきましては、医療機器開発や製造販売業許可取得を受け、製造受託案件の獲得に向けて取り組みました。「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」については、引き続き適用可能性の調査を実施するとともに上市へ向けた取り組みを継続中です。

この結果、売上高は７千７百万円（前年同期比1.0%減）、営業損失は１億６百万円（前年同期は営業損失９千万円）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億２千７百万円減少し、564億４千５百万円となりました。これは主に、棚卸資産が７億８千万円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が10億８千４百万円、現金及び預金が３億７千９百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億８千１百万円減少し、146億８千９百万円となりました。これは主に、賞与引当金が５億３千８百万円増加したのに対し、電子記録債務が13億８千１百万円、借入金８億２千９百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ７億５千４百万円増加し、417億５千６百万円となりました。これは主に、利益剰余金が８億６千９百万円増加したのに対し、為替換算調整勘定が２億２千６百万円減少したことなどによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間の業績及び需要動向を踏まえ、2026年２月10日に公表いたしました2026年12月期の通期（2026年１月１日～2026年12月31日）の業績予想を変更しておりません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,493,823	10,114,032
受取手形及び売掛金	8,063,746	6,978,906
電子記録債権	4,414,207	4,319,438
有価証券	－	200,000
商品及び製品	4,897,584	5,173,398
仕掛品	2,896,956	3,414,748
原材料及び貯蔵品	3,958,546	3,945,727
未収入金	675,313	396,821
その他	470,773	473,351
貸倒引当金	△20,468	△19,557
流動資産合計	35,850,482	34,996,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,120,008	4,419,099
機械装置及び運搬具（純額）	3,419,359	3,164,420
土地	6,423,822	6,333,256
建設仮勘定	1,128,793	786,740
その他（純額）	569,392	619,832
有形固定資産合計	15,661,376	15,323,350
無形固定資産		
ソフトウエア	315,731	312,231
のれん	453,859	359,195
顧客関連資産	159,715	147,700
技術関連資産	124,950	102,900
その他	28,557	36,735
無形固定資産合計	1,082,814	958,762
投資その他の資産		
投資有価証券	697,275	479,896
繰延税金資産	563,217	607,201
退職給付に係る資産	3,293,620	3,532,396
その他	525,306	548,433
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	5,078,420	5,166,927
固定資産合計	21,822,611	21,449,039
資産合計	57,673,093	56,445,907

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,743,573	4,002,806
電子記録債務	3,357,846	1,976,616
短期借入金	1,714,532	1,216,209
未払金	381,576	295,415
未払法人税等	743,848	438,502
賞与引当金	220,411	758,804
その他	1,671,695	1,422,390
流動負債合計	11,833,484	10,110,744
固定負債		
長期借入金	962,311	631,061
役員退職引当金	92,427	91,608
役員株式給付引当金	116,091	144,595
従業員株式給付引当金	36,369	60,353
繰延税金負債	1,257,954	1,219,671
退職給付に係る負債	1,818,121	2,037,749
その他	553,849	393,413
固定負債合計	4,837,125	4,578,453
負債合計	16,670,610	14,689,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,522,580	3,522,580
資本剰余金	2,767,848	2,804,439
利益剰余金	29,441,150	30,310,417
自己株式	△1,746,716	△1,752,174
株主資本合計	33,984,862	34,885,262
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	168,299	169,449
為替換算調整勘定	932,898	706,092
退職給付に係る調整累計額	1,223,673	1,137,635
その他の包括利益累計額合計	2,324,871	2,013,176
非支配株主持分	4,692,749	4,858,271
純資産合計	41,002,483	41,756,710
負債純資産合計	57,673,093	56,445,907

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	35,998,616	38,070,584
売上原価	27,400,998	28,838,306
売上総利益	8,597,618	9,232,277
販売費及び一般管理費	6,381,640	6,409,773
営業利益	2,215,978	2,822,504
営業外収益		
受取利息	31,295	41,911
受取配当金	8,405	6,727
受取賃貸料	58,969	37,362
為替差益	－	18,779
その他	124,057	79,003
営業外収益合計	222,728	183,784
営業外費用		
支払利息	44,554	79,215
賃貸収入原価	55,952	43,912
為替差損	100,883	－
その他	109,595	80,126
営業外費用合計	310,986	203,254
経常利益	2,127,720	2,803,035
特別利益		
固定資産売却益	162,378	9,231
投資有価証券売却益	－	75,826
特別利益合計	162,378	85,058
特別損失		
固定資産処分損	28,829	229
特別損失合計	28,829	229
税金等調整前四半期純利益	2,261,268	2,887,863
法人税、住民税及び事業税	779,701	866,527
法人税等調整額	38,085	△23,536
法人税等合計	817,787	842,990
四半期純利益	1,443,481	2,044,873
非支配株主に帰属する四半期純利益	160,331	252,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,283,150	1,791,972

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,443,481	2,044,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,515	1,541
為替換算調整勘定	△396,616	△210,907
退職給付に係る調整額	△41,644	△86,038
その他の包括利益合計	△351,745	△295,404
四半期包括利益	1,091,735	1,749,469
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	963,307	1,480,277
非支配株主に係る四半期包括利益	128,428	269,191

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

一部の連結子会社の税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自2025年１月１日 至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	ファスナー	産機	制御	メディカル	計	
売上高						
外部顧客への売上高	26,872,431	4,141,303	4,906,555	78,325	35,998,616	35,998,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	26,872,431	4,141,303	4,906,555	78,325	35,998,616	35,998,616
セグメント利益又は損失（△）	1,445,566	527,830	332,979	△90,398	2,215,978	2,215,978

（注）セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

ファスナーセグメントにおいて、Vulcan Forge Private Limitedの株式を取得し、同社および同社の子会社のVulcan Cold Forge Private Limitedの２社を連結子会社したことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの計上額は、295,561千円であります。

なお、当該のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自2026年１月１日 至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	ファスナー	産機	制御	メディカル	計	
売上高						
外部顧客への売上高	28,659,578	4,328,757	5,004,667	77,581	38,070,584	38,070,584
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	28,659,578	4,328,757	5,004,667	77,581	38,070,584	38,070,584
セグメント利益又は損失（△）	1,918,618	660,846	349,391	△106,351	2,822,504	2,822,504

（注）セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,058,381千円	1,119,408千円
のれんの償却額	67,792	76,970

（企業結合等関係）
企業結合に係る暫定的な処理の確定
2025年３月13日（みなし取得日2025年３月31日）に行われたVULCAN FORGE PRIVATE LIMITEDとの企業結合において、前第３四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っておりましたが、前連結会計年度末に確定しております。
この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第３四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において、取得原価の当初配分額の見直しが反映されており、暫定的に算定されたのれんの金額949,056千円は、会計処理の確定により653,495千円減少し、295,561千円となっております。また、顧客関連資産193,600千円を識別しております。